

福岡県総合計画の策定に当たって

福岡県の目指す姿を示すとともに、県政の各分野における施策の方向を示し、県の行政運営の指針となる福岡県総合計画を策定しました。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大、人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化の進展、自然災害の激甚化・頻発化など、私たちを取り巻く状況は大きく変化しています。

このような中、世の中の動きを捉えて県の発展につなげていくためには、アジアに近い地理的条件と優れた交通ネットワーク、多様な産業の集積や優秀な人材など、本県の強みを活かした施策の展開により成長への歩みを力強く進めていくことが重要です。

同時に、誰もが人権を尊重され、社会のあらゆる分野で自分に合った生き方を選択し、個人として持つ能力を発揮することができる社会を実現していかなければなりません。

このため、総合計画では県民の皆さまが安心して生活できるよう、感染症や災害に負けない強靱な社会づくりに取り組み、地方創生の基本である、「誰もが住み慣れたところで働く、長く元気に暮らす、子どもを安心して産み育てることができる」地域社会づくりを進めつつ、空港、道路の整備などにより、将来の発展を支える社会基盤をつくってまいります。

とりわけ、世界を視野に、未来を見据えて、「次代を担う『人財』の育成」、「世界から選ばれる福岡県の実現」、「ワンヘルスの推進」のほか、デジタルやグリーンなど、新たな動きを捉えた施策を展開し、新しい時代の県政を進めてまいります。

こうした取り組みは世界の持続可能性を見据え、あらゆる人々が活躍する社会やジェンダー平等など「誰一人取り残さない」社会の実現を目指したSDGsの理念と軌を一にするものです。

策定にあたっては、総合計画審議会において幅広い観点から活発にご議論いただきました。また、県民ニーズ調査のほか、県民、県議会、市町村など多くの皆さまから、幅広くご意見を賜りました。厚くお礼を申し上げます。

県民の皆さまと手を携えて未来への扉を開き、本県を九州のリーダーたるにふさわしい県に飛躍・発展させ、誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県にしていきたいと思います。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年3月

福岡県知事 服部 誠太郎